

全自動タイプ & 自動タイプ

給湯暖房機 (BL認定品)

取扱説明書 保証書付



	型番	型式名	BL品番	号数
全自動タイプ	135-T210型	GH-SD2700ZW	XT4707ARS4W6P	27 冊
	135-T212型	GH-SD2700ZT	XT4707ARS4AW6P	
	135-T214型	GH-SD2700ZY	XT4707ARS2AW6P	
	135-T215型	GH-SD2700ZB	XT4707ARS8AW6P	
	135-T216型	GH-SD2700ZU	XT4707ARS9AW6P	
	135-T217型	GH-SD2700ZF	XT4707ARS0AW6P	
	135-T220型	GH-SD2700ZW	XT4707ARS4AWP	
	135-T222型	GH-SD2700ZT	XT4707ARS4AWP	
	135-T224型	GH-SD2700ZY	XT4707ARS2AWP	
	135-T225型	GH-SD2700ZB	XT4707ARS8AWP	
135-T226型	GH-SD2700ZU	XT4707ARS9AWP		
135-T227型	GH-SD2700ZF	XT4707ARS0AWP		
自動タイプ	135-T230型	GH-SD2700AW	XT4707ARS5W6P	27 冊
	135-T237型	GH-SD2700AT	XT4707ARS4SW6P	
	135-T234型	GH-SD2700AY	XT4707ARS2SW6P	
	135-T235型	GH-SD2700AB	XT4707ARS8SW6P	
	135-T236型	GH-SD2700AU	XT4707ARS9SW6P	
	135-T237型	GH-SD2700ATF	XT4707ARS0SW6P	
	135-T240型	GH-SD2700AW	XT4707ARS5SWP	
	135-T242型	GH-SD2700AT	XT4707ARS4SWP	
	135-T244型	GH-SD2700AY	XT4707ARS2SWP	
	135-T245型	GH-SD2700AB	XT4707ARS8SWP	
135-T246型	GH-SD2700AU	XT4707ARS9SWP		
135-T247型	GH-SD2700ATF	XT4707ARS0SWP		

このたびは給湯暖房機をお買い上げ
いただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解
したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管して
ください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い
上げの販売店、または最寄りの大阪ガス
へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧ください。
型番・製造年月をお知らせください。



写真は135-T210型

大阪ガス

目次	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
絵表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	8
ご利用前の準備	11
機器の準備	11
現在時刻を合わせる	12
お湯を使うには	13
お湯を使用する	13
優先切替について	14
自動でおふろを沸かすには	15
ふろ自動運転をする	15
沸かし直しをするには	16
ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには	17
ふろ温度の設定	17
保温時間の設定	17
ふろ水位の設定	18
音量を変更するには	19
音量の設定	19
おふろのお湯を熱くするには	20
追いだし運転をする	20
おふろのお湯をぬるくするには	21
ぬるく運転をする	21
おふろのお湯を増やしたいときには	22
たし湯運転をする	22
おふろが沸く時刻を予約するには	23
予約運転をする	23
暖房運転をするには	25
暖房端末機器の運転/停止	25
浴室予備暖房の運転/停止	25
暖房静音について	26
暖房静音の設定	26
暖房静音の解除	26
インターホン機能で通話するには	27
浴室リモコンから台所(博覧)リモコンへ呼び出し	27
台所(博覧)リモコンから浴室リモコンへ呼び出し	27
省電力機能について	28
省電力モードの解除	28
省電力モードの設定	28
知っている便利な機能	29
自動配管クリーンをする	29
手動配管クリーンをする	30
機能の設定を変更する	31
自動配管クリーンをしない	31
ふろ待機設定をする	32
冬の凍結予防をするには	33
凍結予防装置による方法	33
給湯栓の水を流す方法	33
機器の水を抜く方法	34
不凍液による方法	35
再使用するとき	36
凍結してしまったとき	37
点検のポイント・お手入れのしかた	38
点検のポイント(月1回程度)	38
お手入れのしかた(月1回程度)	38
定期点検のおすすめ(有料)	38
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	39
給水口フィルターの掃除	39
点検・お手入れ後の確認	39
故障かな?と思ったら	40
こんな時は故障ではありません	41
アラーム表示について	42
アフターサービスについて	43
仕様一覧	44

ご利用の前に

使い方

長くお使いいただくために

製品の特長

便利です!

- お風呂もシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でお風呂が沸かせます。(→P. 15)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。(→P. 23)



- インターホン無しリモコンセットでは、浴室から台所や他の部屋にいる人を、呼び出すことができます。



- インターホン付きリモコンセットでは、台所や他の部屋にいる人と通話をすることができます。(→P. 27)

環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。(→P. 28)
- 熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え、環境面でもCO₂削減に貢献します。

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

快適です!

- お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。また、水位が下がったら、たし湯します。いつも快適なお風呂です。(→P. 15)
- ※自動タイプは保温のみで、たし湯しません。



- この機器はふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。新しいお湯(リモコンの運転が「切」の場合は水)約6リットルを流して浴槽の循環口から排出します。(→P. 29)

- この機器は、取り付けるリモコンのタイプを選ぶことができます。

- この取扱説明書では、以下のリモコンについて説明しています。

型番	セット内容
138-T320型	浴室リモコン・台所リモコン
138-T321型	浴室リモコン・台所リモコン(暖房スイッチ付)
138-T322型	浴室リモコン・台所リモコン(浴室予備暖房スイッチ付)
138-T349型	浴室リモコン・台所リモコン シルバーカラー
138-T323型	増設リモコン
138-T324型	浴室単体設置用リモコン
138-T325型	浴室リモコン・台所リモコン
138-T326型	浴室リモコン・台所リモコン(暖房スイッチ付)
138-T327型	浴室リモコン・台所リモコン(浴室予備暖房スイッチ付)
138-T341型	浴室リモコン・台所リモコン シルバーカラー
138-T331型	増設リモコン

- 上記以外のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンに付属されているリモコンの操作方法の取扱説明書をよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

- ⚠ 危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
- ⚠ 警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ 注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について

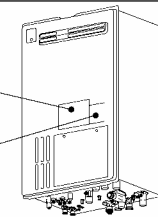


お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。(→P. XX) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について (図は135-T210型を示します)

- 使用上の注意**
- 使用上の注意について表示しています。

- 銘板**
- 型番・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠ 危険

屋内に設置しない

- 燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

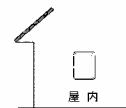
ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
- ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



必ずお守りください

警告

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

ガス接続について

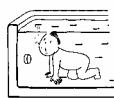
●この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

お子様には十分な注意を

●浴槽の湯（水）に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



分解禁止

●お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。事故や故障の原因となります。

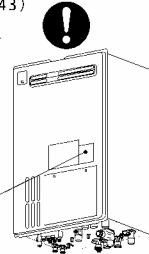
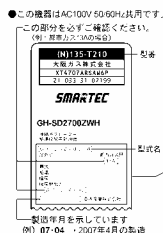


分解禁止

機器の銘板を確認

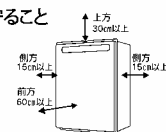
●機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は（→P.43）



火災予防のために必ず守ること

●機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。
※図は135-T210型の場合を示します。



- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



機器本体でのやけどに注意

●使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

必ずお守りください

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
 - 給湯栓を開けても点火しない場合や使用途中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
②「故障かな?と思ったら」(→P.40~42)に従って処置をする。
- 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる



手で温度確かめる



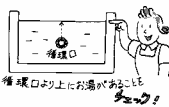
注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし、暖房以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。

空だき防止

●追いだしスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめる。
水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



ソーラー機器について

●ソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。

ドレン排出口・オーバーフロー接続口から排出される水について

●ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。

長期間使用しない場合

●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ①シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
・お湯を再使用する時
・給水圧が下がったとき
・お湯の量を急に少なくしたとき
・機器が故障したとき
- ②給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。
- ③給湯使用時は出湯管（蛇口）に触らない。
- ④入浴するときは、手で湯の温度を確認する。
- ⑤おふろ沸かし（沸かし直し）や追いだし時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。
- 電源プラグは根本まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。ほこりがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 濡れた手で電源プラグを触らない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。
- この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているかアースを接続を確認する。



禁止



アースを接続

配管カバー（または据置台）についての注意

●据置台のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P.39）

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいらずに注意してください。



禁止



飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

断水のとき

- 給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。（冬期の凍結予防を除く）

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



禁止

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜く



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス会社へご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P. 33)に従って処置をしてください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります。（有料）
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは「凍結してしまったとき」(→P. 37)に従って処置をしてください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる



- 再通電したときは、リモコンの現在時刻設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 自動でおふろを沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、「沸かし直しをするには」(→P. 16)の操作を行ってください。

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

必ずお守りください

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P. 38)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガス会社へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをすることで、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排水されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 堀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、ドレン排出配管は除きます)

地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫酸・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音が発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音が発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 菓草やゆず入り入浴剤の場合は、菓草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P. 34)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



排気ガス

- 増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

必ずお守りください

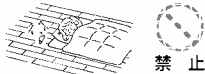
警告 床暖房についての注意

やけどに注意

●長時間、皮膚の同じところに触れて使用しない。低温やけどの原因となります。

〈次のような方は特に注意〉

- ・お子様
 - ・深酒、疲労の激しい方
 - ・お年寄り
 - ・皮膚の弱い方
 - ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- 乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しない。低温やけどのおそれがあります。



禁止

火災予防

●床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



禁止

床についての注意

●床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



禁止

注意

床についての注意

床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる

●床面に水・薬品・しゅう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。



禁止

床へは衝撃を加えない

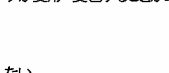
●床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

床仕上材の上に敷物を敷かない

●木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形・変色することがあります。



禁止

用途についての注意

●床暖房を他の目的に使用しない。

特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



禁止

床下防腐処理について

●床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

家具などを直接床に置かない

●床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

重いものはそのまま置かない

●ピアノなど重量物にはバットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



禁止

ホットカーペットとの併用はしない

●床仕上材が変形、変色するおそれがあります。



禁止

カーペットの張替えについて

●張替えするには床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープかクリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。

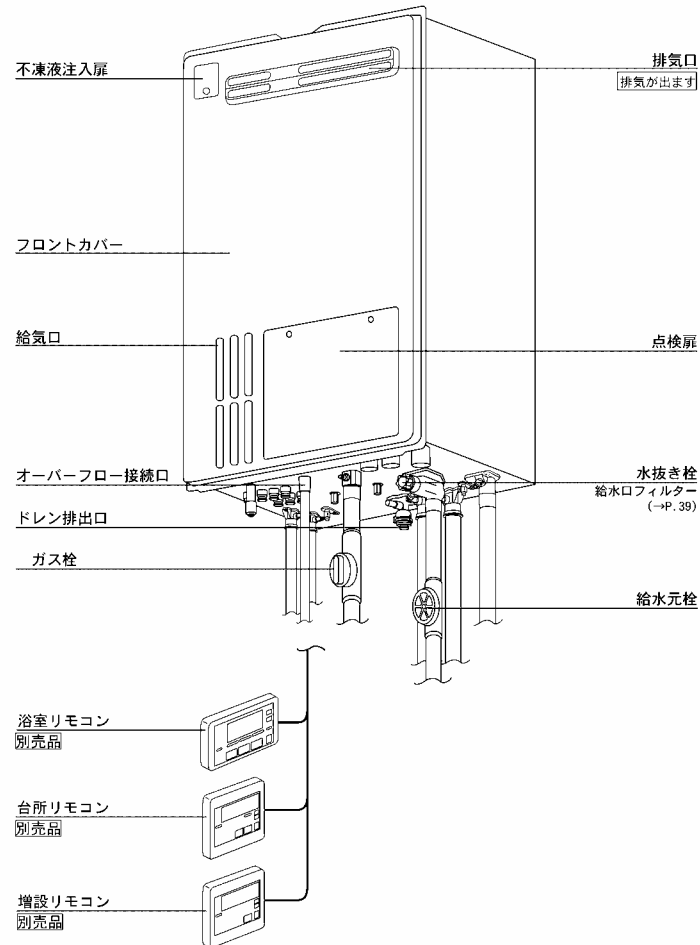


!

床暖房以外の暖房端末機器についての注意は、暖房端末機器の取扱説明書にあります。暖房端末機器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称とよさき

■機器本体（図は135-T210型を示します）

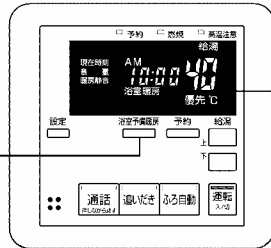


「利用の前に」

各部の名称とはたらき

インターホン無 / インターホン付 138-T322型 / 138-T327型 (浴室予備暖房スイッチ付)

浴室予備暖房スイッチ付の台所リモコンです。台所に設置して使用します。給湯温度の設定やふろ自動・追いだし・予約・暖房静音・浴室予備暖房運転の「入」/「切」などの操作ができます。※リモコンの図はインターホン付を示します。説明は標準リモコン(浴室予備暖房スイッチなし)との違いのみを説明します。

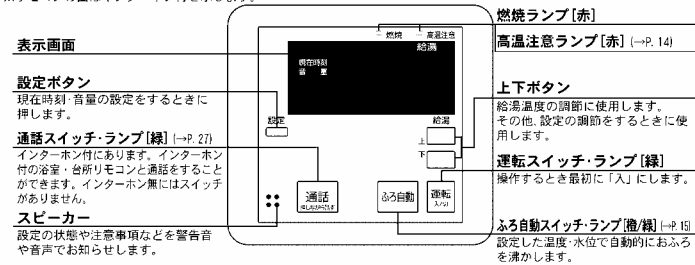


浴室暖房表示
浴室予備暖房運転中に表示します。

浴室予備暖房スイッチ (→P. 25)
浴室予備暖房運転をするときに押します。

■増設リモコン インターホン無 / インターホン付 138-T323型 / 138-T331型 (別売品)

浴室や台所以外の部屋に設置して使用します。給湯温度の設定や、ふろ自動運転の操作ができますが、追いだし・予約・暖房静音運転は操作できません。※リモコンの図はインターホン付を示します。



ご利用前の準備

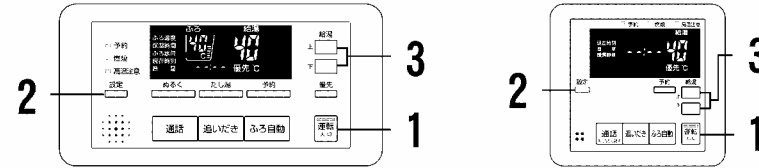
初めてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行います** (→P. 38)
- 2 給水元栓を全開にします**
機器の下部にあります。
- 3 給湯栓を開けます**
水が出ることを確認したら閉じます。
- 4 ガス栓を全開にします**
機器の下部にあります。
- 5 電源プラグをコンセントに差し込みます**
機器周辺にあります。

ご利用前の準備

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■現在時刻を合わせる 現在時刻合わせは、浴室・台所・増設のいずれかひとつのリモコンで操作します。ここでは浴室リモコンで説明します。

操作	操作後の画面	説明
1 運転スイッチを押して「入」にします		“現在時刻をセットしてください”
2 設定ボタンを現在時刻の右に「<」が表示するまで押します		“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”
3 上ボタンまたは下ボタンを押して現在時刻を設定します		“現在時刻、セットされました”
現在時刻設定後、しばらく待つと確定します		“現在時刻、セットされました”

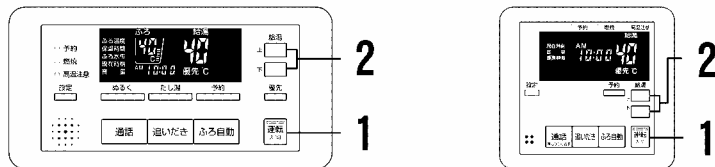


- 電源投入直後や停電からの再通電時は、リモコン画面上にが表示されます。表示が消えるまで、約40秒程度かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待つから運転スイッチを「入」にしてください。
- 出荷時の時刻表示は「--:--」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので通電後、時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、運転スイッチを「入」にするたびに“現在時刻をセットしてください”と音声ガイドが流れます。但し、停電などで通電が止まる前の給湯温度が50℃以上の場合は“熱い温度にセットされました 注意してください”の音声ガイドが変わります。
- 設定時にはAM(午前)・PM(午後)に注意してください。
- 設定時に「<」または「>」を押さないでしばらく待つと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

お湯を使うには

お風呂のシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先が表示されているリモコンで操作できます。ここでは、台所リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転ランプの点灯を確認します 給湯温度を確認します		運転ランプが点灯していないときは、 優先 を押します。
2 給湯温度を変更する場合は 優先 の点灯を確認して 優先 または 優先 を押します		温度変更ができない場合は 優先 の点灯を確認します。 (→P.14)
3 給湯栓を開けます		各リモコンでも燃焼ランプが点灯します。
4 給湯栓を閉じます		燃焼ランプが消灯します。 ※但し、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

警告 ● 給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓開め忘れ確認のためアラーム番号“011”を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、(リセット操作) (→P.42)をしてからご使用ください。
- ふろ自動運転のお湯張り中に給湯・シャワーを使用するとふろ設定温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使うときはご注意ください。また、ふろ自動運転を待機させ、給湯温度で出湯する設定もできます。(→P.32)

お湯を使うには

□給湯温度の目安

ご使用の目安 (単位:℃)

32	35	37	38	39	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
低温	シャワー・給湯など			給湯など				高温						

※工場出荷時

※50℃以上に設定した場合には、高温注意ランプが点灯し、音声が流れます。



“熱い温度にセットされました 注意してください”

ご注意ください

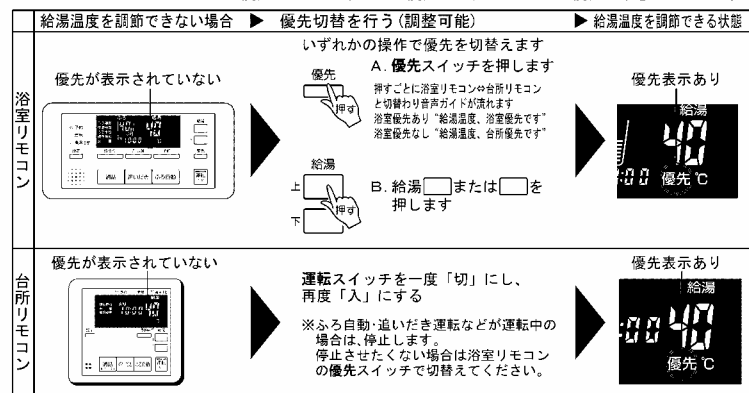
- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏期など水温が高い場合、低温設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。

警告 ● シャワー使用中は使用者以外、給湯温度の変更や優先の切替・運転スイッチを「切」にしない。行くとシャワーの温度が急変し、危険です。シャワーを使用するときは、必ず浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

- お願い**
- ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中は、リモコンの**優先**または**優先**を押すと“ビッピッピ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。
 - 55℃以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60℃には設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから設定してください。

■優先切替について

給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

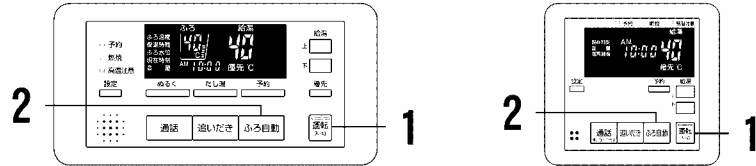


- 給湯優先切替時には、55℃より高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時に、設定温度が50℃以上の場合には“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- 別売の増設リモコンを設置している場合
 - ・ 台所リモコンが優先のときは、増設リモコンにも優先があります。
 - ・ 増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコン・台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

自動でおふろを沸かすには

スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。

※リモコンのイラストはインターホン付です。



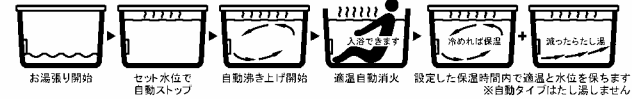
■ふろ自動運転をする

ここでは、浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
準備 浴槽の排水栓をして ふたをします		※初めてご利用されるときのおふろ温度・保温時間・おふろ水位の確認および変更は(→P. 17～18)
1 運転 点灯を確認します		点灯していないときは、 点灯 を押します。
2 おふろ自動 を押します ふろ自動運転が始まります		“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか” お湯張り中表示・ お湯張り [橙]・お湯張り中表示・ 燃焼ランプ が点灯します。 設定水位に近くなると“もうすぐおふろに入れます” 設定された温度に沸き上がると“おふろが沸きました” お湯張り中表示・ 燃焼ランプ が消灯し、 お湯張り [橙]が 緑 になります。 ※全自動タイプの機器は、浴槽内のお湯が減ったらおふろ水位までお湯をたし湯もします。 保温時間が終了すると 保温完了 [緑]が消灯します。
おふろが沸き上がると保温に入ります		
保温時間内はおふろ温度を保つため、定期的に沸き上げます		

●沸き上がり際の音声ガイドで、給湯温度が50℃以上に設定している場合には、浴室リモコンから“熱い温度にセットされました 注意してください”と流れます。

自動でおふろを沸かすには



おふろ沸かしや保温を途中で停止したいときは

ふろ自動運転中に**停止**を押します。ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

警告 ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯かけんを手で確かめる。確認をおこなるとやけどのおそれがあります。

注意 ●ご注意ください

●以下の場合には“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。

1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
2. 残り湯があつてふろ自動運転を行った際、現在のおふろ温度が設定温度に近いか高いとき。(全自動タイプ) 残り湯があつてふろ自動運転を行ったとき。(自動タイプ)

●自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。「沸かし直しをするには」(→下記参照)をご覧ください。

●ふろ待機設定をしている場合は、他の場所で給湯を使用している間、お湯張りが止まります。(→P. 32)

●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共にリモコンの燃焼ランプがついたり消えたりすることは異常ではありません。

●保温時のおふろ沸かしの間隔は、気温等により約15～30分の間隔で行います。

■沸かし直しをするには

ふろ自動運転をする(→P. 15)の**1**から**2**と同じ操作で行います。

また、追だし運転をする(→P. 20)でも行うことができます。(たし湯は行いません)

全自動タイプ

●おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが、残り湯の水位によりおふろ水位と異なる場合があります。

自動タイプ

●残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のおふろに注意してください。

●残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。特に残り湯が設定水位付近のときは追だし運転をする(→P. 20)と同じ操作で行ってください。残り湯が設定水位付近でふろ自動運転を行うとおふろのお湯がたし湯になります。また、追だし・たし湯中は循環口から高温の湯が出ることがありますので、ご注意ください。

●残り湯と設定温度の差が少ない(約5℃未満)場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、たし湯スイッチを押してたし湯してください。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■ふろ温度の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 <input type="checkbox"/> をふろ温度の右に< が表示するまで押します ご使用の目安 (単位:°C) 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 -----低溫-----ぬるい 標準 あつい 図:工場出荷時		“ふろ温度です 上下ボタンで入力してください” ふろ温度が点滅します。

2 +/- または +/- を押してふろ温度を変更します ふろ温度変更後、しばらくたつと確定します		“ふろ温度、セットされました”
---	--	-----------------

■保温時間の設定

浴室リモコンで操作します

操 作	操作後の画面	説 明
1 <input type="checkbox"/> を保温時間の右に< が表示するまで押します 保温時間 (単位:時間) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 図:工場出荷時		“保温時間です 上下ボタンで入力してください” 保温時間が点滅します。 ※保温しない場合は、“0”に設定してください。

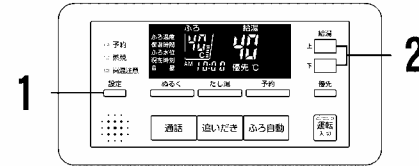
2 +/- または +/- を押して保温時間を変更します 保温時間変更後、しばらくたつと確定します		“保温時間、セットされました”
---	--	-----------------

❗ご注意ください

- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低溫に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合や設定温度より高い湯温となる場合があります。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

※リモコンのイラストはインターホン付です。



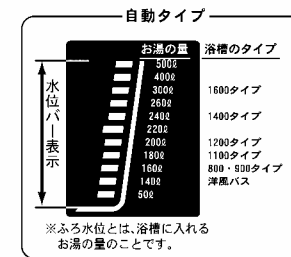
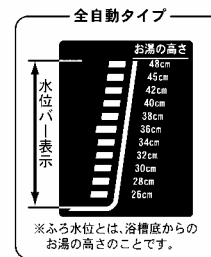
■ふろ水位の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 <input type="checkbox"/> をふろ水位の右に< が表示するまで押します		“ふろ水位です 上下ボタンで入力してください” 水位バーが点滅します。 ※水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください。

2 +/- または +/- を押してふろ水位を変更します ふろ水位変更後、しばらくたつと確定します		“ふろ水位、セットされました”
---	--	-----------------

ふろ水位の目安 □:工場出荷時



- お願い**
- 浴槽の種類や施工条件によって、表示される水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高めめにセットするとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをおすすめします。なお、全自動タイプのふろ水位 (cm) は、循環口の中心が浴槽下面から15 cmにあることを前提に設定されています。

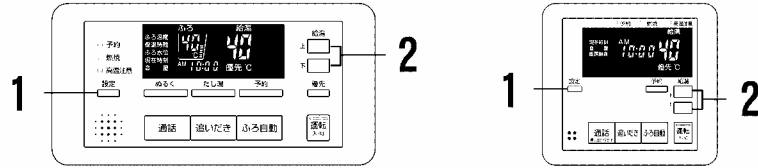


- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- ふろ自動運転中でもふろ温度・保温時間の設定を変更することができます。
- 設定時に +/- または +/- を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

音量を変更するには

浴室・台所・増設リモコンで、それぞれ個別に設定ができます。

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■音量の設定

ここでは台所リモコンで説明します。

操作	操作後の画面	説明				
<p>1 設定 を音量の右に ◀ が表示するまで押します</p> <p>音量の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>0(無音)</td> <td>1(小)</td> <td>2(中)</td> <td>3(大)</td> </tr> </table> <p>工場出荷時</p>	0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)		<p>“音量です” 上下ボタンで入力してください”</p> <p>音量が点滅します。サンプル音が流れますので、好みの音量に設定してください。</p>
0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)			
<p>2 ◻ または ◻ で音量を変更します</p> <p>変更後 ◻ を押す、またはしばらくたつと確定となります</p>		<p>“音量、セットされました”</p> <p>現在時刻表示に戻ります。</p>				

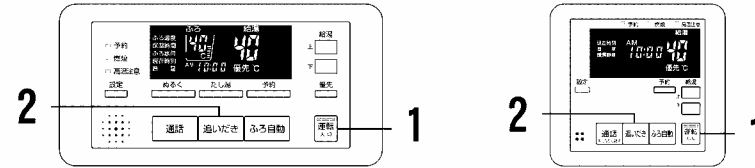


- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、呼び出し（インターホン付は通話）スイッチが押されたときのチャイムや音声は音量“小”で流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピピピピ”の音は調整できません。
- 設定時に「◻」または「◻」を押さないでしばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。
- 設定ボタンを順に押して各設定を続けて変更することもできます。設定が終了すると音声ガイドが変更設定した項目についてお知らせします。

お風呂のお湯を熱くするには

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだし」といいます。

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■追いだし運転をする

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作できます。ここでは浴室リモコンで説明します。

操作	操作後の画面	説明				
<p>1 追いだし の点灯を確認します</p>		<p>点灯していないときは、設定 を押します。</p>				
<p>2 追いだし を押します</p>		<p>“お風呂を沸かします”</p> <p>運転が開始すると、追いだしランプ・浴室リモコンの循環中表示・燃烧ランプが点灯します。</p>				
<p>【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】</p> <table border="1"> <tr> <td>浴室リモコンで操作</td> <td>浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。 (追いだし時の最高温度:50℃)</td> </tr> <tr> <td>台所リモコンで操作</td> <td>浴槽の湯の温度+2℃が設定したお風呂温度より低い場合は設定したお風呂温度まで沸かします。</td> </tr> </table>			浴室リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。 (追いだし時の最高温度:50℃)	台所リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃が設定したお風呂温度より低い場合は設定したお風呂温度まで沸かします。
浴室リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。 (追いだし時の最高温度:50℃)					
台所リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃が設定したお風呂温度より低い場合は設定したお風呂温度まで沸かします。					
<p>運転が終了すると、追いだしランプ・燃烧ランプが消え、浴室リモコンの循環中表示も消えます。</p>						

もっと熱くしたいときには

追いだし運転終了後にもう一度、浴室リモコンの **追いだし** を押します。
お好みの湯がげんになったら、**設定** を押して停止してください。

追いだし運転中に停止するには

追いだし運転中に **追いだし** を押します。
追いだしランプ・燃烧ランプと浴室リモコンの循環中表示が消灯して、追いだし運転を停止します。

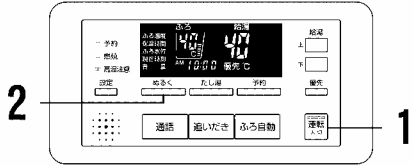
△注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯（水）があることを確認する。

○お願い ●追いだしスイッチは長く（5秒以上）押さないでください。入浴中に追いだしスイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。（→P.34）誤って押し続けた場合はもう一度追いだしスイッチを押してください。



お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱いときは、ぬるくすることができます。この機能を「ぬるく」といいます。
※リモコンのイラストはインターホン付です。



■ぬるく運転をする 自動的に水(約12ℓ)を入れかかはんします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 の点灯を確認します		点灯していないときは、 を押します。
2 を押します		<ul style="list-style-type: none"> ぬるく・お湯はり中表示が点灯し、ぬるく運転を開始します。 約12ℓの水を入れて、かかはんしてから自動停止します。 運転が終了すると、お湯はり中表示・ぬるくが消えます。

もっとぬるくしたいときには
ぬるく運転終了後にもう一度、 を押します。
お好みの湯かげんになったら、 を押して停止してください。

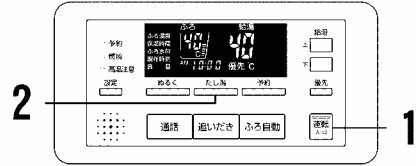
ぬるく運転中に停止するには
ぬるく運転中に を押します。
お湯はり中表示・ぬるくが消灯してぬるく運転が停止します。

- ❗ ご注意ください
- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了すると、ぬるく運転を再開します。
 - ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
 - ふる自動運転の燃焼中や給湯・シャワーの使用中は、ぬるくスイッチは使用できません。押すと“ヒッピヒッ”と警告音が鳴ります。



お風呂のお湯を増やしたいときには

浴槽のお湯の量を増やすことができます。この機能を「たし湯」といいます。
※リモコンのイラストはインターホン付です。



■たし湯運転をする 自動的に「ふる温度」設定のお湯を約24ℓ入れかかはんします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 の点灯を確認します		点灯していないときは、 を押します。
2 を押します		<ul style="list-style-type: none"> たし湯・お湯はり中表示・燃焼ランプが点灯し、たし湯運転を開始します。 約24ℓのお湯を入れて、かかはんしてから自動停止します。 運転が終了すると燃焼ランプ・お湯はり中表示・たし湯が消えます。

もっとお湯を増やしたいときには
たし湯運転終了後にもう一度、 を押します。
お好みの湯量になったら、 を押して停止してください。

たし湯運転中に停止するには
たし湯運転中に を押します。
燃焼ランプ・お湯はり中表示・たし湯が消灯して、たし湯運転が停止します。

- ❗ ご注意ください
- たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふる温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふる温度が高いときに、給湯・シャワー等を使うときはご注意ください。また、たし湯を待機させ、給湯・シャワーを給湯温度で出湯させる設定もできます。(→P. 32)
 - 夏期など水温が高い場合、ふる温度を低温に設定すると、たし湯時に燃焼しない場合があります。
- お願い ●たし湯スイッチを5秒以上押し続けると、手動配管クリーン運転を始めます。(→P. 30)
誤って押し続けた場合はもう一度たし湯スイッチを押してください。
- XE ●たし湯終了後に給湯栓を開けたときの給湯温度が50℃以上の場合は、チャイムが鳴り音声ガイドが“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。

使 用 方 法

おふろが沸く時刻を予約するには

おふろの沸き上がり時間を予約することができます。

予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。
予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓および、ふたがしてあることを確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(→P. 12)
- 予約時刻を確認。(→下記参照)
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(→P. 17～18)

予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください

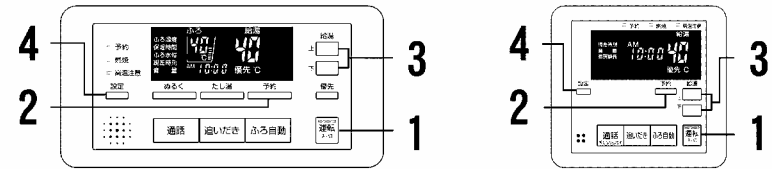


■予約運転をする

浴室リモコンと台所リモコンで操作できますが、ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
準備 浴槽の排水栓をして ふたをします		
1 運転ランプの点灯を確認します		運転ランプが点灯していないときは、運転ランプを押します。
2 予約を押します		“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください” 予約ランプが点灯します。 予約時刻表示が点滅します。
3 予約時刻を設定します ↑または↓を押して 予約時刻を変更します。		予約時刻の変更をしない場合は、↑または↓を押さずしばらくたつと、予約の確定となります。
4 設定を押す、もしくはしばらくたつと確定となります。		“予約されました おふろの栓はしましたか” 予約時刻の点滅から現在の時刻の点灯に戻ります。

おふろが沸く時刻を予約するには



操 作	操作後の画面	説 明
5 予約した時刻におふろが沸き上がるように、ふろ自動運転が始まります		予約ランプが消灯します。 お湯張り中表示・ 燃焼ランプが点灯します。
おふろが沸き上がると 保温に入ります		おふろが沸き上がると “おふろが沸きました” お湯張り中表示・燃焼ランプが 消灯し、お湯自動運転が 変わります。

予約運転を解除したいときは ※リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作ができます。

- 予約ランプが点灯している場合→予約を押します。
“予約、解除されました”
予約ランプが消えて予約が解除されます。
- おふろ沸かしが始まっている場合→お湯自動を押します。
ふろ自動運転ランプが消えて運転が停止します。



- 変更した予約時刻は、次回変更するまで記憶されます。
- リモコンに予約表示が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また、予約ランプの点灯中は運転スイッチ「入」/「切」に関係なく、予約スイッチを押すと予約は解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まり、再通電したあとは現在時刻を合わせた(→P. 12)後、再度予約を押してください。(予約の操作には現在時刻の設定が必要です)

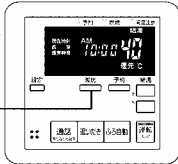
暖房運転をするには

暖房端末機器を使用できます。機器の操作はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

※リモコンのイラストはインターホン付です。

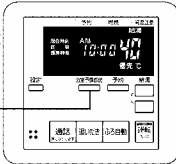
138-T321型/138-T326型
暖房スイッチ付
台所リモコン

運・停
転・止



138-T322型/138-T327型
浴室予備暖房スイッチ付
台所リモコン

運・停
転・止



■暖房端末機器の運転/停止 暖房端末機器に運転スイッチがない場合や信号線を接続していない場合に使用できます。暖房スイッチ付台所リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
運転 暖房端末機器のバルブを開け <input type="checkbox"/> を押します		暖房が表示します。 ※運転スイッチが「切」の場合でも暖房は表示されます。
停止 <input type="checkbox"/> を押し、端末機器のバルブを閉じます		暖房が消えます。

■浴室予備暖房の運転/停止 浴室暖房乾燥機の暖房運転の「入」/「切」をします。浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンで操作します。

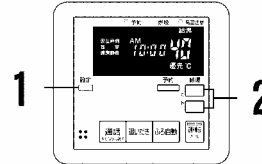
操作	操作後の画面	説明
運転 <input type="checkbox"/> を押します		浴室暖房を表示します。 ※リモコンの運転スイッチが「切」の場合でも浴室暖房は表示されます。
停止 <input type="checkbox"/> を押します		浴室暖房が消えます。 ※省電力モード中で画面が消えているときは、 <input type="checkbox"/> を2度押します。

- ※**
- リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく暖房運転・浴室予備暖房運転ができます。
 - 暖房・浴室予備暖房運転中のリモコンの燃焼ランプは、リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく、暖房端末機器の運転状態により点灯および消灯をします。
 - 暖房端末機器に運転スイッチがない場合は、暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用ください。
 - 浴室暖房乾燥機に付属のリモコンで浴室予備暖房運転を行っているときに を押し、浴室暖房乾燥機の運転が止まります。
- また、暖房以外の運転を行っているときに を押しと浴室予備暖房運転に切り替わります。
- 暖房端末機器の運転方法・温度調節の方法については、暖房端末機器付属の取扱説明書をご覧ください。

暖房静音について

暖房静音は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■暖房静音の設定 台所リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 <input type="checkbox"/> を暖房静音の右に <input type="checkbox"/> が表示するまで押します		“静音です 上下ボタンで入力してください”
2 <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押して暖房静音を表示します <input type="checkbox"/> を押し、またはしばらくたつと確定となります		“静音、セットされました” ※運転スイッチが「切」の場合でも暖房静音は表示されます。

■暖房静音の解除 台所リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 <input type="checkbox"/> を暖房静音の右に <input type="checkbox"/> が表示するまで押します		“静音です 上下ボタンで入力してください”
2 <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押して暖房静音を消します <input type="checkbox"/> を押し、またはしばらくたつと確定となります		“静音、解除されました”

- ※**
- リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく暖房静音の設定ができます。
 - 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
 - リモコンの運転スイッチを「切」にしても設定は解除されません。
 - 暖房静音運転中に追いつき運転やふろ自動運転を行うと、暖房運転音が静かにならない場合がありますが異常ではありません。

インターホン機能で通話するには

インターホン付リモコンをご利用の場合

浴室にいる時に何か必要なものがある人を呼びたい、あるいは気分が悪くなった時などに、押すだけで台所リモコンのチャイムを鳴らして知らせ、通話ができます。浴室から台所などにいる人を呼んで通話したいときにご利用ください。また、台所・お部屋から浴室へ呼び出し、通話もできます。

■浴室リモコンから台所(増設)リモコンへ呼び出し

呼び出し(浴室)

応答(台所・増設)

「通話」を押します

チャイムが鳴ります。通話ランプの点灯中に(約30秒間)に、浴室リモコンに向かって話します。

通話ランプの点滅中や消灯時は、通話できません。

チャイムが鳴り、通話ランプが点滅して浴室リモコンの音が流れます。

「折り返し浴室へ通話したいときは」通話ランプの点滅中に、「通話」を押しながら話します

※押している間(通話中)は、「通話」が点滅から点灯に変わります。

途中で通話を止めるには

浴室リモコンでは、通話ランプ点灯中に「通話」を押します。

通話ランプが消灯します。

台所(増設)リモコンでは、通話ランプ点滅中に「通話」を押します。

通話ランプが消灯します。

■台所(増設)リモコンから浴室リモコンへ呼び出し

呼び出し(台所・増設)

応答(浴室)

「通話」を押します

チャイムが鳴ります。通話ランプが点灯したら、「通話」を押したまま話します。

チャイムが鳴り、通話ランプが点滅して台所(増設)リモコンの音が流れます。

「折り返し台所(各部屋)へ通話したいときは」通話ランプの点灯中に、浴室リモコンに向かって話します

お願い

- 台所(増設)リモコンから話しかけるときは、通話スイッチを押しながらお話しください。
- 運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。
- 増設リモコンも台所リモコンと同じ操作で呼び出しと通話ができます。
- 増設リモコン⇄台所リモコン間でも、呼び出しと通話ができます。
- 浴室リモコンは、ハンズフリー(通話スイッチを押さない)で通話できます。
- リモコンに近づき過ぎて話すと音声割れることがあります。リモコンとの距離は30cm前後で話してください。

省電力機能について

5分以上何も操作しないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■省電力モードの解除 浴室リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 「通話」の点灯を確認します 「省電力」があることを確認します		点灯していないときは、「通話」を押します。 省電力モード中の場合は、リモコンの画面を表示して確認します。 ※工場出荷時は省電力「入」になっています。
2 浴室リモコンの「設定」を5秒以上押し続けます		“省電力、解除されました” 各リモコンの「省電力」が消えます。

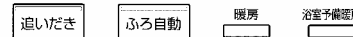
■省電力モードの設定 浴室リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 「通話」の点灯を確認します 「省電力」がないことを確認します		点灯していないときは、「通話」を押します。
2 浴室リモコンの「設定」を5秒以上押し続けます		“省電力、セットされました” 各リモコンに「省電力」が表示します。 運転スイッチの「入」/「切」に関係なく、5分以上操作がない場合、画面表示が消えます。

省電力モード中に画面を表示させるには各スイッチ(呼び出し・通話を除く)およびボタンを押すと表示します。

①ご注意ください

下図のスイッチは、押すと画面が表示されると同時に、運転を開始します。



リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ・ふろ自動運転中(保温を含む)

お願い

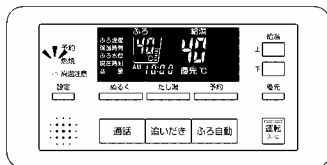
●省電力モード中で画面が消えているときに給湯・シャワーを使うときは、画面を表示させて給湯温度を確認してからご利用ください。

●呼び出し・通話スイッチは、画面が消えている状態のまま操作できます。

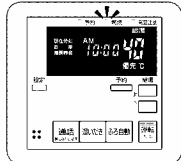
お願い

●省電力モードは運転スイッチの「入」/「切」では解除できません。

知っている便利な機能




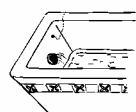

※リモコンのイラストはインターホン付です。



※リモコンが「入」になっていると、燃焼ランプが点灯します。

■自動配管クリーンをする

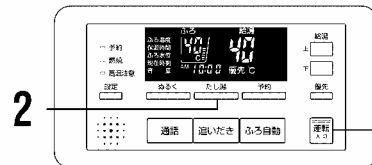
お風呂のお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を新しいお湯で流し出す機能です。全自動タイプの機器でのみご利用できます。

条件	操作	説明
1. ふろ自動運転終了後、残り湯が循環口より上にあること 2. 排水中に給湯等を使用していないこと		※リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく機能します。
1 お風呂の栓を抜きます		※浴槽の水(お湯)を排水するときには必ず「お湯」の消灯を確認してください。 点灯しているときは、「お湯」を押します。
2 残り湯の水位が循環口より低くなると、自動配管クリーンが始まります		6ℓのお湯(または水)を1分弱で流し、自動停止します。 ※自動配管クリーン動作中に給湯やシャワーを使用すると、動作を終了します。
	※リモコンが「入」の場合は、右図の画面が表示されます	



- 自動配管クリーンはリモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく機能します。
- リモコンの運転スイッチ「入」の時にはふろ温度設定のお湯で、「切」の時には水で流し出します。
- ふろ自動運転終了後、お湯の汲み出し等で浴槽の水位が循環口より低くなってしまった場合にも、自動配管クリーンの機能がはたらきます。
- 自動配管クリーンはふろ自動運転毎に1回行います。
- 自動配管クリーンを作動させない設定にすることもできます。(→P. 31)



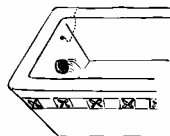
知っている便利な機能



※リモコンのイラストはインターホン付です。

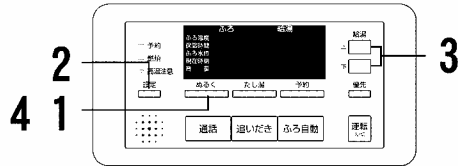
■手動配管クリーンをする

追いだき配管内の残り湯を新しいお湯で流し出す機能です。浴室リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 運転スイッチの点灯を確認します		点灯していないときは、「運転」を押します。
2 「お湯」を5秒以上長押しします 手動配管クリーンを開始します	 	「お湯」とお湯はり中表示を表示します。 6ℓのお湯の温度設定のお湯を1分弱で流し、自動停止します。 終了すると画面は、元に戻ります。
手動配管クリーン中に停止するには 「停止」を押します。画面表示が通常に戻り、手動配管クリーンが停止します。		

機能の設定を変更する

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■自動配管クリーンをしない

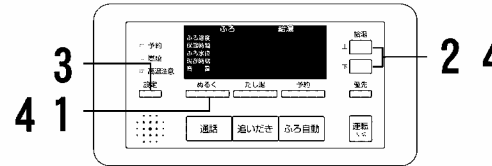
自動配管クリーン機能を動作しないようにすることができます。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 リモコンの運転が「切」になっていることを確認します 「 ぬるく 」を“ピッ”と鳴るまで(2秒以上)長押しします		
2 設定 を押します		
3 上 または 下 を押して II を選択します		II →自動配管クリーンをする(工場出荷時) II →自動配管クリーンをしない
4 ぬるく を押します		“セットされました”

XE ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

機能の設定を変更する

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■ふろ待機設定をする

ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯・シャワーを使用した場合、給湯温度で出湯することができます。お湯を使用している間はふろ自動運転のお湯張りやたし湯を停止(待機)することができます。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 リモコンの運転が「切」になっていることを確認します 「 ぬるく 」を“ピッ”と鳴るまで(2秒以上)長押しします		
2 上 または 下 を押して II を選択します		
3 設定 を押します		
4 上 または 下 を押して II を選択します ぬるく を押します		II →ふろ自動お湯張り中注湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯の同時使用が可能。給湯・シャワーはふろ温度で出湯されます。(工場出荷時) II →ふろ自動お湯張り中給湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯を使用すると、ふろ自動運転のお湯張りやたし湯が停止(待機)します。給湯・シャワーは給湯温度で出湯されます。 “セットされました”

XE ●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

使い方

冬の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温-1.5℃、有風5m/秒程度まで）

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水（湯）を循環して、ふる配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。



- 凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水（湯）は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- 浴槽の水（湯）を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずそのままにしておいてください。

暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておいてください

- 暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転（燃焼）し、暖房回路を温めて凍結予防をします。機器および端末機器の電源プラグを抜いたり電源ブレーカーを切らないでください。（暖房端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります）
- 暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。（→P.35）

お願い ●お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

寒波などで特に寒くなりそうときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

操作	説明
<p>1 を押してリモコンを「切」にします</p>	必ず行います。
<p>2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます</p>	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

- ×**
- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
 - 通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。（→P.5）
 - サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬の凍結予防をするには

※リモコンのイラストはインターホン付です。



■機器の水を抜く方法

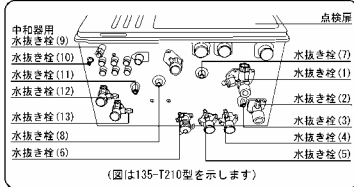

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

操作	説明
<p>1 ガス栓と給水元栓を閉じます</p>	機器の下部にあります。
<p>2 浴槽の水を完全に排水します 浴室リモコンの の点灯を確認し、 を5秒間押し続けます</p>	※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。
<p>3 すべての給湯栓を全開にします</p>	
<p>4 水抜き栓(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)を外します</p> <p>水抜き栓(9)の外しかた 水抜き栓(9)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます</p>	<p>(図は135-T210型を示します)</p>

- ⚠注意** ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

長くお使いいただくためです

冬の凍結予防をするには

操作	説明
5 暖房回路の水抜きを行わない場合は7 8の操作を行います	
6 暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をします 【不凍液が入っている場合】 水抜きを行わずに7 8の操作を行います 【不凍液が入っていない場合】 水抜き栓(10)(11)(12)(13)を外します	※不凍液注入の場合は、機器フロントカバーに『不凍液が入っています』のラベルが貼付されています。  (図は135-T210型を示します)
7 必ず電源プラグを抜きます	 機器の周辺にあります。 電源プラグを抜き忘れずと機器の故障の原因となります。
8 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元どおりに取り付けてください	

注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 39)

- お願い** ●暖房回路の水抜きを行った場合は、再び使用するとき水張り作業が必要です。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
 ●水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
 ●水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。

■不凍液による方法

- 寒冷地では指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
 □不凍液は経年劣化しますので、毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに点検を依頼してください。(有料)
 □不凍液の性能が低下している場合は交換(有料)が必要です。性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因となります。

35

冬の凍結予防をするには

■再使用するとき 水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

操作	説明
1 水抜き栓(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します	 (図は135-T210型を示します)
2 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します。また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します	 給水元栓は機器の下部にあります。 水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。
3 ガス栓を開け、電源プラグを差し込みます	 ガス栓は機器の下部にあります。 電源プラグは機器の周辺にあります。
4 リモコンの現在時刻を設定します(→P. 12)	
5  を押し、ふろ自動運転を行います。浴槽に湯を張り水位などを確認します(再度水漏れがないか確認してください)	 ※お風呂を沸かしながら、自動的にポンプに呼び水をするためです。

通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンにアラーム番号“173”“543”が出る場合
 暖房端末機器側の運転とリモコンの運転スイッチを一旦「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグの抜き差しをしてから再使用してください。

注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 39)





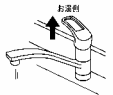
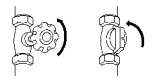


- お願い** ●再使用するとき、水抜き栓を元通りに確実に閉めてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
 ●再使用の初回給湯使用時には、約90秒間機器への補水を行うため、この間はお湯が出ません。(点火しません)しばらくたってから、再出湯してください。

長くお使いいただくために

36

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき 凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操 作	説 明
1 ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3  を押して リモコンを「切」にします 	
4 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます 	給水元栓は、機器の下部にあります。
5 給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます 	機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。
6  を押し、リモコンを「入」にします 	

⚠️ **注意** ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 39）

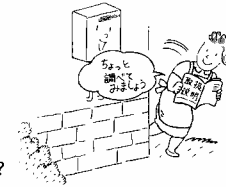
🙏 **お願い** ●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損しますと、高額の修理費用（有料）がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。
●機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度）

次の7つのポイントで点検してください。

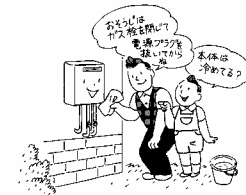
- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
- 7 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してお使いいただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）については、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。
点検は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

⚠️ **警告** ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

🚫 **ご注意ください**



分解禁止

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

🙏 **お願い** ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

長くお使いいただくために

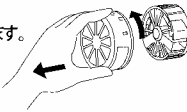
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまります。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いがきができなくなります。

①循環口フィルターの外し方

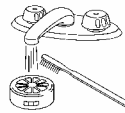
循環口フィルターを左に回して手前に引き出す。



②循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。

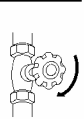
掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。



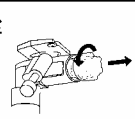
■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に、新築の場合）

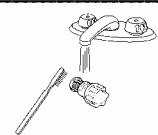
1 給水元栓を閉じる



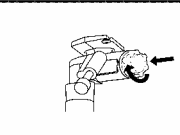
2 水抜き栓を外す



3 歯ブラシなどで洗う



4 元のように取り付ける



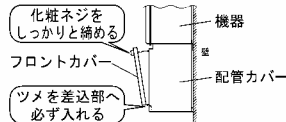
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

①配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後は、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



③お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合があります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に表示が出ない	省電力モード中ではありませんか (→P.28) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.11) 停電していませんか (→P.5)
アラーム番号「032」「252」「542」が点滅し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか (→P.11) 断水していませんか (→P.5) おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→P.15) 循環口フィルターが詰まっていますか (→P.39)
燃焼ランプが点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→P.11) 給水元栓が全開になっていますか (→P.11) 断水していませんか (→P.5) 給湯栓が十分開いていますか (→P.13) 給水口フィルターが詰まっていますか (→P.39) 浴槽に水が入っていますか(追いただき運転時) (→P.20) 循環口フィルターが詰まっていますか(ふろ使用時) (→P.39)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→P.13) 温度調節は適切ですか (→P.13) 混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃にセットしてください
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度のセットは適切ですか (→P.17) 循環口フィルターが詰まっていますか (→P.39)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位のセットは適切ですか (→P.18) 循環口フィルターが詰まっていますか (→P.39)
洗濯機に入る残り湯が極端に少ない	洗濯機の入水口フィルターの掃除を行ってください
暖房がきかない(ききが悪い)	ガス栓が全開になっていますか (→P.11) 暖房端末機器の温度設定は適切ですか 床暖房は暖まるまでに時間がかかる場合があります

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞らずに水になった	この機器は通水量が約3.5ℓ分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変わる	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ぬるく」「ふる自動」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違っており、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯力が残っている、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふる自動スイッチを押した後お湯振りがとどき停止する	浴槽の中に正確にお湯振りをするための動作です。
お風呂を使用していないのに浴槽の循環口よりお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水したあと、ふる配管内の残り湯を流し出す機能が働くと、循環口からお湯(水)が出ます。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」「ふる自動」「追だし」「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかりと閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エア抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。
床暖房を使用していないのに床が暖まることある	暖房回路内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。このときに他の端末機器(浴室暖房等)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
冬期など寒いとき追だしのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
ドレンポンプがときどき自動的に回り、ふる場で水のはねる音がする	ドレン水を排出する機能が動作しているため、故障ではありません。 ・熱効率が高いためドレン水が出ます。(約500ccで1日に2-3回出ますが季節や使用条件によって排出量はかわります) ・浴室内でドレン水を排出している場合があります。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。この機器は、熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた場合の再通電時は、時刻表示が「---」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.12)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは、**お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。**

故障かな?と思ったら

■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号が点滅表示し、自動的に運転を停止します。アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

アラーム番号	内容	処置方法	使用状態	アラーム番号	内容	処置方法	使用状態
002	ガス供給なし(浴槽残り湯有)		追だし運転	441	ドレンタンク水垢輸出異常		ぬる自動、たし湯、追だし、ふる自動
011	給湯60分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯	502	ふる熱動弁異常		ふる自動
030	未対応ガス種選択	修理を依頼する		510	光ガス電磁弁異常		ぬる自動、たし湯、追だし、ふる自動
032	注湯時間異常		ふる自動、追だし	511	給湯ガス電磁弁異常		給湯、ふる自動、たし湯
035	凍結予防水抜き異常	浴槽の排水栓を確認後リセット	凍結予防水抜き時	513	暖房ガス電磁弁異常		ふる自動、追だし、暖房
101	多系統選択異常			542	切替弁異常		ふる自動、ぬるく、たし湯
103	給湯自己診断警告	修理を依頼する	給湯、ふる自動、たし湯	543	暖房側給湯水異常(多量)		ふる自動、追だし、暖房
108	暖房自己診断警告		ふる自動、追だし、暖房	592	注湯電磁弁異常		ふる自動、たし湯
111	給湯側点火不良	ガス種確認後リセット	ふる自動、追だし、暖房	611	給湯燃焼ファン回転異常		ぬる自動、たし湯、追だし、ふる自動
113	暖房、追だし点火不良		ふる自動、追だし、暖房	613	暖房燃焼ファン回転異常		ぬる自動、たし湯、追だし、ふる自動
121	給湯点火失敗		ふる自動、追だし、暖房	623	循環ポンプ異常		ふる自動、追だし、暖房
123	暖房、追だし全燃炎火		ふる自動、追だし、暖房	651	バイパス水制御弁異常	修理を依頼する	給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
140	空だき安全装置作動		ぬる自動、追だし、暖房	700	電装基礎異常		
173	元ガス電磁弁回路異常		ぬる自動、ぬるく、追だし、暖房	701	給湯ガス比例弁駆動回路異常		給湯、ふる自動、たし湯
173	暖房回路高水異常(少量)		ふる自動、追だし、暖房	702	暖房ガス比例弁駆動回路異常		ふる自動、追だし、暖房
232	ふる水抜きスイッチ異常		ぬる自動、追だし、暖房	711	給湯ガス電磁弁回路不良		給湯、ふる自動、たし湯
240	中和器詰まり		ぬる自動、追だし、暖房	713	暖房ガス電磁弁回路不良		給湯、追だし、暖房
290	ドレンポンプ異常		ぬる自動、たし湯、追だし、暖房	721	給湯側プロトボスト異常		給湯、ふる自動、たし湯
300	外気温センサー異常		ぬる自動、たし湯、追だし、暖房	723	暖房側プロトボスト異常		給湯、追だし、暖房
310	出湯センサー異常		給湯、ふる自動、たし湯	740	浴所リモコン通信異常		
311	出湯センサー異常		給湯、ふる自動、たし湯	750	浴所リモコン通信異常		
312	ふるセンサー異常	修理を依頼する	ふる自動、追だし	760	電力測定ユニット通信異常	修理を依頼する	
313	暖房センサー異常		ぬる自動、追だし、暖房	763	新築動作異常		
321	入浴センサー異常		給湯、ふる自動、たし湯	801	給湯給気汚染異常		給湯、ふる自動、たし湯
331	混合センサー異常		給湯、ふる自動、たし湯	803	暖房給気汚染異常		ふる自動、追だし、暖房
343	タンク出センサー異常		ふる自動、追だし、暖房	920	中和器異常	修理を依頼する	ぬる自動、たし湯、追だし、暖房
391	暖房自己診断アラーム動作		ふる自動、追だし、暖房	930	中和器寿命		ぬる自動、たし湯、追だし、暖房
393	暖房自己診断アラーム動作		ふる自動、ぬるく、たし湯	991	給湯自己診断燃焼異常		給湯、ふる自動、たし湯
422	注湯センサー異常		ふる自動	993	暖房自己診断燃焼異常		ふる自動、追だし、暖房
432	水栓センサー異常		ふる自動				
433	暖房タンク水位輸出異常		ふる自動、追だし、暖房				

リセット操作 を一度「切」にし、3秒以上経過してから、 を「入」にする。

〔浴室リモコン〕

番号によっては、給湯やふる温度表示部に補足の番号が出る場合があります。ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



〔浴所リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



⚠️ ご注意ください

- アラーム番号“920”・“930”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。アラーム番号“920”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中は、リモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。アラーム番号“930”では機器の使用はできません。
- アラーム番号“101”・“103”が表示されたときは、燃焼状態を自己診断し、良好な燃焼を維持できない場合にお知らせする警告表示です。“101”・“103”の警告表示が点滅しているときの使用はできませんが、機器の燃焼が悪化している状態で使用し続けると最終的に安全装置がはたらい“991”・“993”のアラームとなり機器の使用ができなくなりますので、アラーム番号“101”・“103”が点滅したときは、修理を依頼してください。
- アラーム番号“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じるにより、アラームが解除される場合があります。

長くお使いいただくために

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P. 40~42)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはお客様ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 型番(例) 135-T210型
ガスの種類(例) 13A
※銘板をご覧ください。(→P. 3)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設ともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P. 34)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目	内容					
品名	135-T210型	135-T212型	135-T214型	135-T215型	135-T216型	135-T217型
型式名	135-T220型	135-T222型	135-T224型	135-T225型	135-T226型	135-T227型
品名	GH-SD2700ZW	GH-SD2700ZT	GH-SD2700ZY	GH-SD2700ZB	GH-SD2700ZU	GH-SD2700ZF
型式名	135-T230型	135-T232型	135-T234型	135-T235型	135-T236型	135-T237型
型式名	135-T240型	135-T242型	135-T244型	135-T245型	135-T246型	135-T247型
型式名	GH-SD2700AW	GH-SD2700AT	GH-SD2700AY	GH-SD2700AB	GH-SD2700AU	GH-SD2700ATF
外形寸法(mm)	幅480×奥行285×高さ750					
質量(kg)	49					
給湯方式	先止め式					
暖房方式	温水循環方式					
給排気方式	屋外強制給気方式				屋外強制給排気方式	
設置方式	屋外設置形					
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)					
使用水圧	100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²)					
最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)					
給湯	3.5ℓ/分					
暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)					
ふろ	3.8ℓ/分					
消費電力	4.8W(省電力中 4.0W)					
定格	340W	350W	340W	350W	380W	
凍結予防作動時	430W	440W	430W	440W	470W	
給水・給湯	20A(R3/4オネジ)					
低温往き	135-T210, T212, T214, T215, T216, T217型:CHジョイント(GP) 135-T220, T222, T224, T225, T226, T227型:QF16ジョイント					
高温往き戻り	135-T230, T232, T234, T235, T236, T237型:CHジョイント(GP) 135-T240, T242, T244, T245, T246, T247型:QF16ジョイント					
ふろ	QF16ジョイント					
ドレン排出口	QF16ジョイント					
オーバーフロー接続	CHジョイント					
電気	15A(R1/2オネジ)					
安全装置	本体電源 AC100V(50/60HZ) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心					
安全装置	ファン回転検出装置(燃焼ファン) 異常安全装置(異常リレー) 立消え安全装置(フレームロック) 故障保護装置(サージブローバ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防ヒータポンプ運転(凍結予防装置) 空だき安全装置(バイメタル式) 電流ヒューズ(過電流安全装置) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電線) 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ) 過熱防止装置(温度ヒューズ)					

〔能力表〕 ※LPガスは135-T210型・135-T220型・135-T230型・135-T240型-のみの仕様となります。

使用ガス	1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}	出湯能力(最大)ℓ/分		能力kW{kcal/h}		ガス接続		
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	追いだし	暖房			
都市ガス	13A 69.5(59,800)	49.5(42,600)	20.0(17,200)	27.0	16.9	8.72(7,500)	17.4(15,000)	20A
LPガス	69.6(4,97kg/h)	49.6(3,54kg/h)	20.0(1.43kg/h)	27.0	16.9	8.72(7,500)	17.4(15,000)	(R3/4)

- ◎ ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
- ◎ 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能な最大流量の計算値になります。
- ◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために